

# 令和2年度 定期監査・行政監査の報告書

(令和2年10月9日～令和2年11月16日)

## ●町長部局

### 1 総務課

- 経常収支比率が年々悪化し、財政の自由度が失われている。震災の頻発が予想され、不意の出費も想定されるので今まで以上に歳入、歳出には気を配られたい。
- 毎年震災が発生している状況で避難所開設等、機敏な対応が執られており、町民の信頼に繋がっていると思われる。
- 公共施設の統廃合については、個別計画が策定されたので、その方針に沿って着実に実施されたい。
- 今年は、コロナで各種イベントが中止されており、この際、イベントについても統廃合を進めてもらいたい。
- 消費者相談についても、町民がトラブルに巻き込まれないよう、引き続き寄り添った対応を願いたい。
- 新型コロナと豪雨災害の影響で各課に影響が出ている。過重な労働にならないよう気を配られたい。

### 2 まちづくり推進課

- 学校跡地活用事業について、ほぼ方針が決定され成約に結びついているようであり、順調に進捗していると思われる。
- 空き家バンク事業についてこれまで40件の成約があり、世帯人員97名が入居している。入居後も、ほぼ定住化が進んでいるもよう。
- ふるさと納税業務について、今年度は10月末まで約1.6億円の実績があり、年度末には約3億円の収入を見込んでいる。返礼品が充実したことで順調に推移している。
- 町の新規事業を一手に担っており、その事業の成否が町政全般の士気に関わる。手探りでの業務になるが、軌道に乗せることが重要なので注力されたい。

### 3 税務住民課

- 町民税滞納分については、よく実態把握がなされており、預金、給与の差押等により徴収に繋がっている。県の調査によれば、町税の徴収率の改善度合いが現年分、過年度分合計で県下1位となっている。特に過年度分の徴収率が良い。

参考 平成27年度～令和元年度 徴収率 89.51%⇒96.09% 改善率1位

平成27年度～令和元年度 徴収率順位 38位⇒23位

関係者のご苦労には敬意を表したい。ただ、改善は著しいが近隣町には、まだ、劣後している状況なので引き続き努力されたい。

自主財源が少ない中で、今後も町税の収納に努力願いたい。

#### 4 健康福祉課

- 住民健診の受診率は令和元年度 66.1%（県下 3 位）、健診の重要性は言うまでもないが、町民の健康な生活を守る為、受診率をもっと高めてもらいたい。その為には、未受診者へのアプローチを高める必要がある。受診率を 70%へ引き上げ、最終的には 80%を目指してもらいたい。
- コロナで業務量が増加し、余裕がないように思われる。残業時間も増加しているようである。年休の取得もままならないようであり、コロナ禍でやむえない面もあるが職員の健康管理には十分留意されたい。

#### 5 住民課

- 三加和総合支所の顔であることを意識して、常に親切、丁寧な対応に努められたい。それが、行政への信頼に繋がると思われる。
- 三加和地区の高齢化率は 40%を超えており、介護認定業務が増加している。現場から永年、保健師の常駐の希望があるので前向きに検討できないか。

#### 6 農林振興課

- 専業農家を大規模化し、各種補助金を活用して儲かる農業に繋げてもらいたい。一戸の農家ごとに方策を立ててもらいたい。
- 農業者人口を維持、増加させる為、例えばサラリーマンを退職した人に農業の面白さ、楽しみをPRし、65歳から80歳ぐらいまでの人生を土と交わりながら農業をして、生き生きと生きようという意識付けができないか。それには、町の資金の支援も必要だが、それによって後世に豊かな自然を残せるのではないか。

#### 7 商工観光課

- コロナの影響で町内事業者の困窮さが推察される。制度融資が制定されたことにより、利子補給による支援が行われるようであるが、しっかりサポートしてもらいたい。

#### 8 建設課

- 家賃、簡易水道、下水道料金等の滞納管理について、前年からは改善されており、滞納者の実態把握もなされ、回収努力が窺える。
- 7月の豪雨災害もあって、被災者への補助金対応等の業務量が増加し、年休の取得が十分なされていない。残業時間も増加しており、職員の精神面も含めたケアには十分注意されたい。

#### 9 会計室

- 基金の運用について現在、運用枠限度額近くまで活用されている状況。引続き安全で効率的な運用に留意されたい。
- 景気の動向を注視しながら、金融情勢の把握に努められたい。

- 公金の取扱いについては、厳格な管理を徹底されたい。

## ●農業委員会

- 農業委員、農地最適化推進委員の協力を持って、農地の売買、貸借等農地の流動化を推進し、専業農家への農地の集積集約を図られたい。
- 耕作放棄地対策として、シルバー人材センターを活用し、農地の所有者とシルバー人材センターとをマッチングできないか。

## ●議会事務局

- 今後も議員研修、監査委員研修の実施によりレベルアップを図られたい。
- コロナ禍、議会の円滑な運営に努められたい。

## ●教育委員会

### 1 学校教育課

- 菊水地域小学校の統合は、閉校・開校も無事に終わり、無難にスタートできているようである。
- コロナ禍での学校の再開、子どもの心身のケアには意を尽くされたい。
- 奨学金返還滞納者に対しては、よく実態を把握してあり返済も計画どおりなされている。

### 2 社会教育課

- 金栗顕彰事業については、大いなる集客効果もあって、経済的効果も上がったと思われる。町のPRにも大いに寄与したので、今後の施策に期待したい。
- 新型コロナの影響で各種イベントが中止となる中で、感染拡大を防止しながら現在、様々な企画に取り組んでいる。
- 懸案であった総合グラウンド整備事業は順調に進んでおり、各種のスポーツ交流によって町の活性化を図られたい。
- 今後、ふれあい会館の活用をどうするかに知恵を絞られたい。

### 3 菊水小学校

- (1) 菊水地区4小学校の統合化は無事に終了し、スクールバス運行も軌道に乗っているようである。
- (2) 新型コロナウイルスの影響について
  - ① 授業時間の確保については懸念されていたが、何とか追いついているようである。
  - ② 子供への影響は、イベントがなくなり自分自身を発現する場がなくなり、心身の成長が気になる。

(3) 学校徴収金の取扱いについて

現金の取扱いをなくし、集金については銀行の自動集金サービスを利用し、支払いはインターネットバンキングで支払っており、取扱いのリスクは低下している。

しかし、通帳の中身の点検は、不定期に実施されたい。

(4) 報告、連絡、相談体制について

教職員間の情報共有、イレギュラーなこと、悪い情報は早目に管理職へ報告するなど大きな問題に発展しないよう、早目の対応に心掛けられたい。

#### 4 三加和小学校

(1) 新型コロナウイルスの影響について

③ 授業時間の確保については懸念されていたが、何とか追いついているようである。

② 子供への影響は、イベントがなくなり自分自身を発現する場がなくなり、心身の成長が気になる。

(2) 学校徴収金の取扱いについて

現金の取扱いをなくし、集金については銀行の自動集金サービスを利用し、支払いはインターネットバンキングで支払っており、取扱いのリスクは低下している。

しかし、通帳の中身の点検は、不定期に実施されたい。

(3) 報告、連絡、相談体制について

教職員間の情報共有、イレギュラーなこと、悪い情報は早目に管理職へ報告するなど大きな問題に発展しないよう、早目の対応に心掛けられたい。

(4) 昨年から特別支援員が1人減ったことで、支援が必要な子供に対してのケアが十分出来ず、課題となっているようである。

#### 5 菊水中学校

(1) 新型コロナウイルスの影響について

① 授業時間の確保については懸念されていたが、何とか追いついているようである。

② 子供への影響は、イベントがなくなり自分自身を発現する場がなくなり、心身の成長が気になる。

(2) 学校徴収金の取扱いについて

現金の取扱いをなくし、集金については銀行の自動集金サービスを利用し、支払いはインターネットバンキングで支払っており、取扱いのリスクは低下している。

しかし、通帳の中身の点検は、不定期に実施されたい。

(3) 報告、連絡、相談体制について

教職員間の情報共有、イレギュラーなこと、悪い情報は早目に管理職へ報告するなど大きな問題に発展しないよう、早目の対応に心掛けられたい。

(4) 校舎の近くに大木が茂っており、落ち葉が校舎の屋上に落下し、雨漏りのおそれがあるようである。

## 6 三加和中学校

### (1) 新型コロナウイルスの影響について

- ① 授業時間の確保については懸念されていたが、何とか追いついているようである。
- ② 子供への影響は、イベントがなくなり自分自身を発現する場がなくなり、心身の成長が気になる。

### (2) 学校徴収金の取扱いについて

現金の取扱いをなくし、集金については銀行の自動集金サービスを利用し、支払いはインターネットバンキングで支払っており、取扱いのリスクは低下している。しかし、通帳の中身の点検は、不定期に実施されたい。

### (3) 報告、連絡、相談体制について

教職員間の情報共有、イレギュラーなこと、悪い情報は早目に管理職へ報告するなど大きな問題に発展しないよう、早目の対応に心掛けられたい。

### (4) 昨年まで生徒が荒れて授業が成り立たないという声があったが、今年は生徒に落ち着きが見られるようである。

## ●町立病院

- 前年度は黒字計上となったものの、今年度は新型コロナの影響を強く受け入院、外来とも患者数が落ち込んでおり、収益低下は避けられそうにない。近隣の病院もコロナの影響で患者が減少し、経営が厳しくなっているため患者の囲い込みが考えられる。当病院が回復期、慢性期の病院であることの特徴を生かせず、入院患者の受け入れが減少していると思われる。
- 減収とはなっても、それに見合ったコスト削減努力によって、経営の維持に努められたい。
- 今年度は医療費未収金の償却も予定されているが、残った未収金については、長期化しないように管理を強化されたい。

## ●特別養護老人ホーム きくすい荘

- コロナの影響で入居者との面会禁止、誕生会、夏祭り等すべて行事が中止となり、入居者の楽しみが無くなっている。また、他の老健施設からの入居者の減少により、収入が大幅に落ち込み経営面で大きな打撃となっている。
- 職員の相次ぐ退職で人手不足となり、派遣の人員で対応しており、今後の懸念される。
- 建物の老朽化、耐震不足で入居者、職員に安心、安全面で不安を与えている。
- 昨年8月、施設整備の方針案が現場から具申されたが、その後、公共施設の検討委員会では新築する方向性にあるようである。具申から1年が過ぎたが、中々進展が見られない。建物の耐震不足、老朽化が進む中で職員、入居者は安全面で不安を抱えながらの生活をしている。早期に対応してやらないと、もしも事故が発生した場合には、行政の責任を問われなくても限らないので、早期の対応が必要と考える。

## ●財政援助団体等

### 1 ロマン館

- 前期決算は若干ではあるが 286 千円の最終黒字を計上している。これで 4 期連続の黒字決算となっている。売上高は前期比 124 千円増の 171 百万円（横ばい）営業損益は前期比△2,049 千円赤字幅が拡大し、4,124 千円の営業赤字となっている。要因は販管費が 3,244 千円増加（最低賃金の引上げで人件費が 2,142 千円増加）したことと考えられる。
- 今期は新型コロナの影響で営業自粛、営業時間を短縮していることで強く業績に反映されることになる。赤字決算は必至と考えられる。9 月までの月次決算は 2,078 千円の赤字。
- 来客数が年々減少している。各種イベントを実施し、来客数の減少に努力しているが、歯止めになってないと考えられる。
- 売場が狭いし、照明が暗いなどの問題点があり、早急に売り場作りの改善が必要と考える。老朽化の問題もあり、抜本的に例えば温泉を閉鎖し、新しい業態での店舗運営を検討する等が肝要かと考える。

### 2 丸美屋

- 令和 2 年 2 月期決算について、最終損益は 19,087 千円の赤字であった。前期比 4,123 千円の改善。金栗四三ミュージアム、生家のイベント効果もあって売上は前期比 19,420 千円の増、来館者数 27,880 人増加した。  
しかし、販管費が 6,162 千円増加していることから、営業段階での赤字は続いている。中でも人件費が 3,767 千円増加している。今期は、コロナの影響を強く受け温泉を休館したことで、売上は 10 月時点で前期比▲18,577 千円、▲21.9%、最終損益は前期比 8,932 千円悪化している状況。今期も赤字は避けられないと思うが、今後も経営の改善努力を求めたい。
- 公共施設の管理者として、子供食堂の開催等で地元食材を使った弁当作り、パン作り教室を開催して地域貢献も行っている。

### 3 社会福祉協議会

- 今年は、コロナの影響で雇い止め、派遣切り等で現在 7 万人以上が失職したとの報道がある。生活困窮者の増加が予想されるので、最後のセフティーネットとして役割を果たされたい。
- 民生委員、区長との情報交換により、早目の支援に努められたい。

### 4 和水町商工会

- 現在、商工会員数は 217 名、新型コロナウイルスの影響で会員の中には特に飲食業、観光事業者において大きな影響が生じているようである。
- 新型コロナ感染症への対応として、商工会から町へ利子補給制度創設の要望がだされている。

- 事業者への国の持続化給付金事業についても 67 件、約 8 千万円の手続き支援がなされている。
- コロナ禍での会員への経営指導は難しいと思われるが、各種補助金申請についても今後、全ての会員に周知徹底し、出来るだけ多くの会員が申請できるよう支援強化してもらいたい。